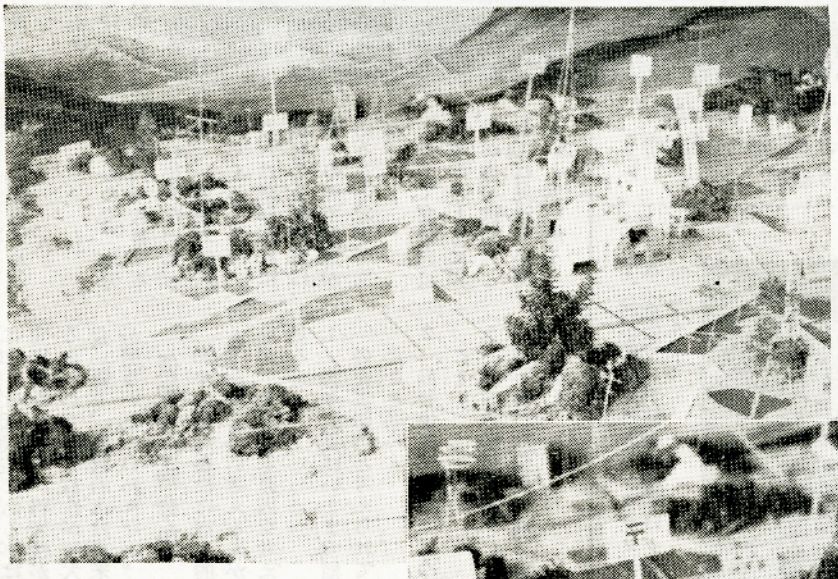
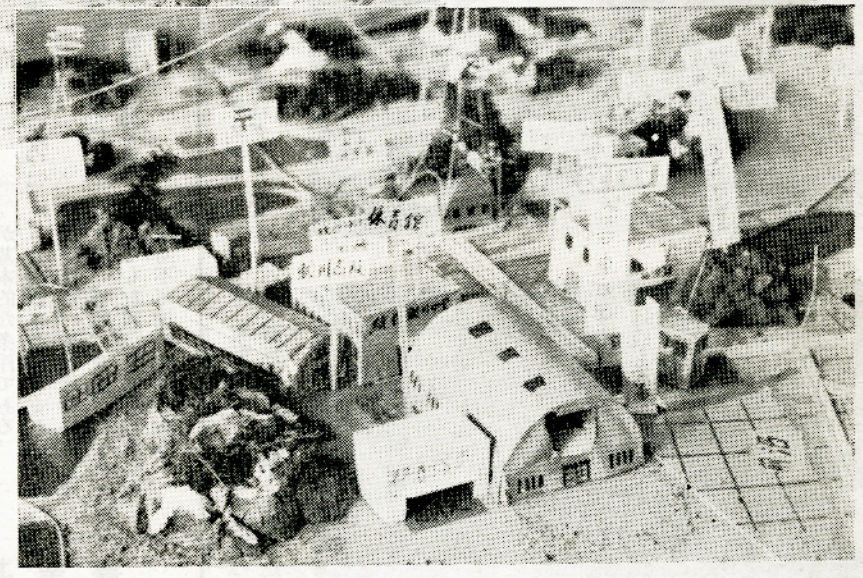
広報
さめがわ

第112号
昭和38年
1月1日発行

編集兼発行
鮫川村役場
鮫川村公民館
塙町　佐藤印刷所





山はおおむね切り開かれ、緑地帯として一部が公園化して痕跡を止めている。
田んぼは整然と区画が整理され、なだらかなスロープの草地は東野、青生野につづく牧野か。
勿来線県道は国道に格上げされて村を縦貫し、全線舗装された路面を高速バスが走っている。
村の中心街には、村民体育館、農民保養所、病院、バスセンターなどが建ちならび、テレビの鉄塔が高くそびえている。これは農業構造改善展に出品された鮫川高校生の描く50年後の村の姿である。

若人のえがく夢 ・ 50年後の鮫川村

新年おめでとうございます

新しい年をむかえて、みなさまの上にいよいよ幸多かれとお祈りいたします。

新正月実施運動も今年で三年目になりました。各地のようすをききましても、既に大勢は決したようです。

少しづつでも不合理を切りすてて、明るい近代的な農村を作り上げましょう。

災害は忘れた頃に——という言葉もあります。豊作になれすぎず、万全の計画で今年の秋も豊かなみのりを期待しましょう。

一月一日、各学校で行なわれた新年祝賀式も盛会でした各区主催の新年会で賀詞を交換することも、新しい生活習慣として育てようではありませんか。

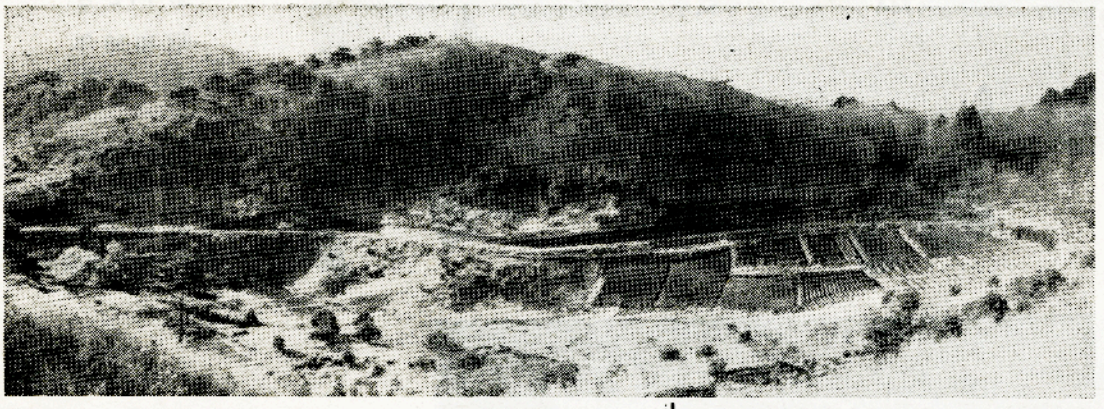
成人式に御参加を
1月15日高校で

成人の日の午前10時から鮫川高校で成人式を行ない、新しく成人になられた皆さんの前途をお祝いいたします。
もれなく御参加下さい。

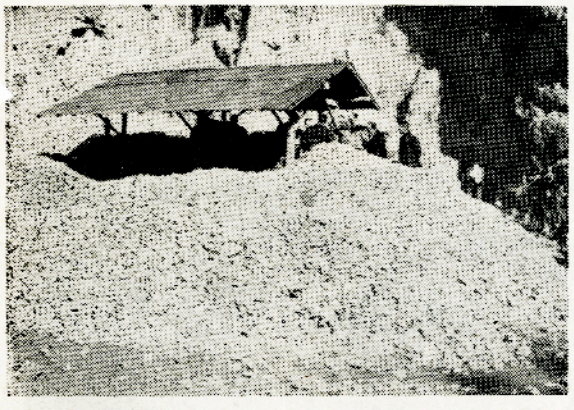
▶感想文募集◀

新しく成人になられたかた1人1編
1月12日まで、役場総務係へ

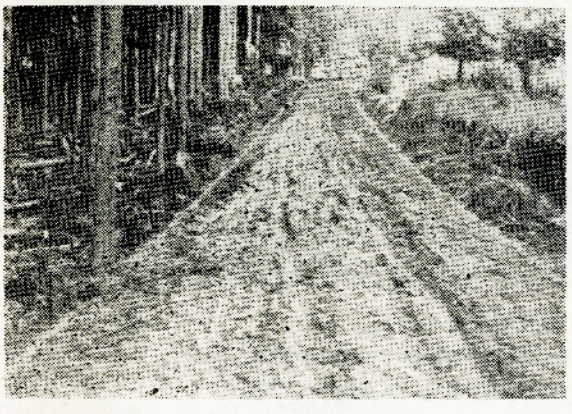
村の文化は道路から　道路工事に協力しましょう



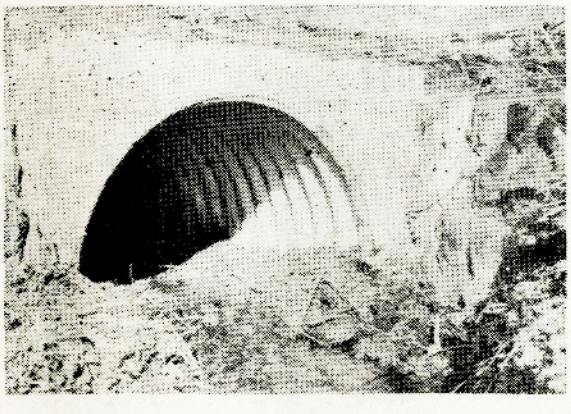
（上）　戸草からハヌキに通ずる開拓道路、今年は工費 400万円で石城郡田人村井出まで延長される。完成すれば常磐に連なる重要路線のひとつとなります。



左①　村が新しく購入したクラッシャーの威力で砂利採取の能率はグンと上りました。



左②　東野の美しい林相地帯をつらぬいて石井草林道が開かれました。



左③　コルゲートパイプを使った新しい工法の暗渠工を開拓道で採用しました

新らしい農業

和牛の多頭飼育

和牛の重要性

和牛は最近肉用として重要視されるようになった。

その原因は

1. 「嗜好性」からくるもので、地方及び個人により全部を豚肉で代替する事は出来ないこと
2. 「飼料対策」からくるもので、これは濃厚飼料に依存する豚飼育は種々の面で問題があることなどである。

従つて食肉需要の増大とともに和牛が肉の供給源としては見通しが明るいと云い得る。

しかし一般にいわれるように和牛は低収益である事は否定出来ないから、将来性があるといつても収益性が増大しない限り、経営的には将来性が明るいとはいわれない。

低収益は宿命か

和牛の低収益性は宿命的であるかのように考える人が多いが、その根本原因を考えて見ると

1. 和牛飼養はいままで稲作の従属部門と考えられていたこと
2. 飼養規模が零細であつたこと
3. 飼養労働が多過ぎたこと
4. 不合理な飼養管理であつたこと
5. 牛の取引機構の不合理
6. 経営技術の低位などである。

それで収益性を高めるにはこれらの原因を排除せねばならない。

こうすれば収益は上る

その対策としては概して飼養規模を拡大し、更に生産コストを低下することにある。

それには飼養労働（草刈労働を含む）時間の短縮と、安価で栄養価の高い飼料の生産が基本的な条件である。

この基本条件を充たすには広い採草、放牧地を必要とするが、繁殖、育成、いずれにしても有利な経営を行うには絶対不可決の条件である。

これらの条件（飼料基盤）が充たされるならば、和牛飼養は絶対に今後将来性があると云つても過言ではないと思うのである。

（中井光徳）

農業基本調査

今年も御協力下さい

県が毎年行なつている農業基本調査が今年も行なわれます。

本村では二十九人の調査員が、二月一日から十日までにお宅を訪問のうえおきします。

県や村はこの調査結果を利用して農業施策をたてますので、みなさんが誤つて報告しますと、実情とかけはなれたものになつてしまい、結局みんなが損をすることになります。

調査されたことは集計のうえ利用しますので、みなさんの家の個々のことはわかりませんから、もちろん課税などには利用されません。統計の法律によつて、これらを税務事務にたずさわる者等にみせることは禁ぜられていますから、御心配なく正しく報告してくださるようおねがいします。

（統計係）

新しい年の課題

村長　石田卯子八

ここに新たなる年を迎え、今年もまたみのり豊かに幸多き年でありますようお祈りいたします。

昨年はキューバの危機、中印国境紛争など、人びとを憂慮させた国際問題もありましたが、さすがは世界のトップクラスの政治的かけひきだけに、ハラハラしながら感嘆させられるものがありました。

ソ連の引きぶりもあざやかであるし、深追いしないアメリカも大きいといわなければなりません。

国内問題では経済成長、石炭対策など、まだまだ論議の余地は多いにしても、早急に国会解散を見込まれるかどうかは、今後の動向にかかるものといえましよう。

政府が重要政策について失政があり、信を国民に問う場合や、主要な施策で反対党と対立し、国民に審判を求める場合ならともかく、与党内部の派閥抗争、乃至は派閥強化のために解散を行なわれることは、国民にとつて迷惑千万であります。

次に地方選挙は今年の最も重要な課題のひとつであります。

身近な選挙だけに、その功罪は深刻な結果であらわれます。自由に表明されるべき選挙民の意志が、情実、買収、暴力、詐謀などの阻害をうけないよう公明選挙の実をあげなければなりません。

選挙する者も、される者も自由な立場で、自己の信念と責任にもとずいて行動し、不明朗なものを極力排除したいものです。

農業構造改善事業は農業者及び農村にとつて世紀の課題ともいうべきものですが、指定村としての計画は次第に固まりつつありますから、いずれ適正なものに練られて実施に移されることになりましよう。

ここで広く考えたいことは構造改善必ずしも農林省基準だけのものではなく、また補助助成だけが必須要件ではないということであります。

農林省が成文化した基準に該当しなくとも、その部落、その農家の自ら行うべき効果的な改善計画はあり得るということを考えたいのであります。

この際実施地区に入つて実施される以外においても、それぞれの計画を持つて、実行にとりかかられることを希望してやみません。

新しい年に寄せる願いと期待は多く、その何れもが共同と結束の力を必要とし、努力と精進の過程を通らなければなりません。

合併強化された隣接諸町村に伍しておくれることなく、住民生活の福祉向上のために、一層の御協力をお願いする次第であります。

国保の目標

健康管理

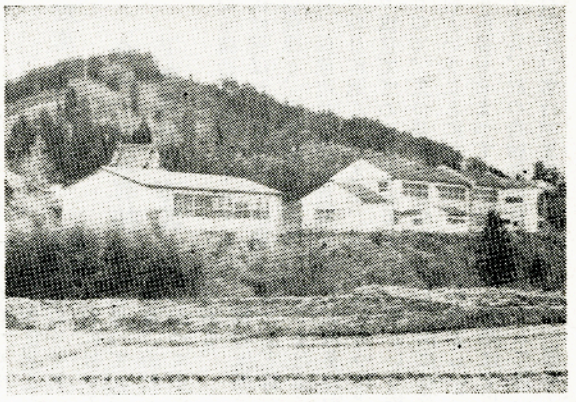
昭和三十八年も明るい幸福な生活を営むために、家族みんなが健康に留意することを目標にかかげましよう。

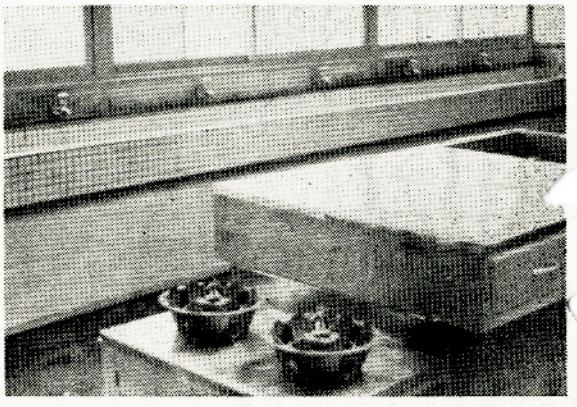
「病気を恐れる前に、まず病気を知れ」といわれます。

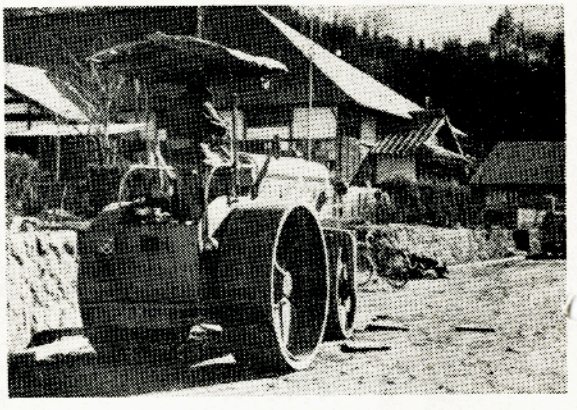
もし病気にかかつたら、早期発見、早期治療の原則でいきましよう。

本年は、笑顔で健康管理に努めると共に、みなさんの健康な心身が、明るい村政の建設に御協力いただけますようにお祈りいたします。

（国保マン）







（上）整備された教育環境
雄大な山王のふもと、渡瀬小中学校は屋内運動場を建設して、緑の屋根、白いカベ、冬陽にかがやくただずまいは絵のようにうつくしい。

（中）鮫中校舎明るくなる
ウサギのね床といわれた鮫中校舎は後の自転車置場をとり払い、新しく調理教室、宿直室、保健室、印刷室、燃料庫などを新築して、すつかり明るくなりました。

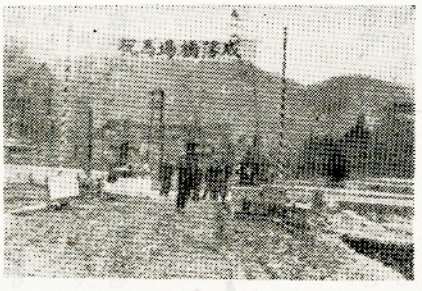
（下）村の中心地帯舗装道路になる
オラの丈夫なうちにマサカ村の道路が舗装にはなるまいといつてるうちに、高校前から農業会館近くまで舗装工事が進められました。

村の話題

馬場橋永久橋にかわる

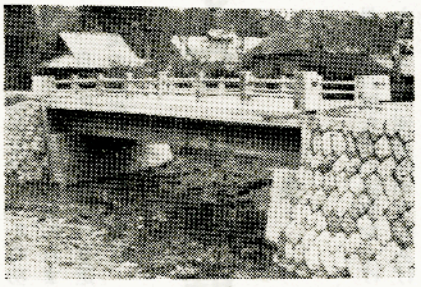
県道鎌田棚倉線の馬場地内落合川にかかる馬場橋は、これまで木橋で交通量が多いため傷みがはげしく、早くから永久橋にかけかえるよう運動中であつたが、昨年五月県営工事で着工され、十二月完工しました。

総事業費四百万円近く、新宿橋に次ぐ大橋です。地元部落では十二月二十日村と共催で落成祝賀会を催し、酒井土木事務所長も臨席、鏑木長重さんら三夫婦も加わり、渡り初めを行つてよろこびあいました。



失対さんたちに感謝

村の道路が日ごとによくなつていくのは、失対さんたちが、よく働いて砂利をしいてくれるためであると感謝されていますが、この感謝の心を毎日現場に民報民友の新聞を贈つて表わしている人があります。それは古殿町の緑川正信さんでその篤行は多くの関係者から感謝されています。



農公電話増設

農村公衆電話はその後村内各地に増設され、村人の生活が大変便利になりました。これからも村のすみずみまで増設されるようお願いしております。最近富田の中沢部落と西山の発地岡部落に新設され近くの人たちによろこばれています。

福原関口で土地改良

渡瀬の福原と関口部落では共同で大面積の暗渠排水工事を計画し、土地改良区の国島技師が設計中であつたが、このほど事業が承認され、低利資金の融通も決定したので近く着工します。

なお個人事業でも資材の斡せんを希望するかたは、一月三十日までに土地改良区に申込まれたいとのことです。



構造改善を見る

双葉郡川内村 (一)

全国一の公有林 基幹作目は市乳

農業構造改善のパイロット地区に選ばれた町村は、伊達郡の保原と、双葉郡の川内である。保原町は果樹と養蚕を基幹作目に選んでいるが、ムシロ旗立ててての反対もあるというので、先づ見るべきは川内村ということになつた。

年の暮もせまつての十二月二十五日、村の農構協委員の一行三十二名は朝まだ暗い午前六時、バスで現地に向け出発した。

石川、蓬田、小野町、大越を経て自衛隊の作つた道路を川内に進んだが、なんと遠い道のりであつた。

村にはいると木戸川の上流に添つて立派な道路が走つている。山村とはいいわが村とちがつて山が低く耕地が平坦である。

稲の出来はわるいらしいがほとんど耕地整理ができている。また現にブルが動いていて区画整理をやつているところもあつた。

橋という橋は永久橋であるし、山には蓄積が多いし、うらやましい限りである。

役場は上川内にある。はいつてみて驚いたことに、わが村の旧役場よりもミスボラしい。低い屋根、せまい間取りうすぐらい事務室、折から議会が開かれていたが、天王様のお堂じみたところが明治の雰囲気である。

いずれにしても近代以前のシロ物で、一万一千町歩の公有林をもち、一億五千万円の財政規模でやつている村の庁舎とは思えない。

河原武村長は、この村も皆さんの村のような行政水準になつた節には、庁舎の改築もやりましようとクスグツタイお話であつた。

助役には県林産課の古手吏員をたのんできているし、林産課長は現職の県吏員に出向で来てもらつている。構造改善の事務には職員二名を増員して当らせているというが、富ㇼ農改普及所の優秀な若い技師が駐在して調査や計画に専念している。

ボウ大な公有林がこの村の財政の中核でもあり、行政の中心でもある。年間六千万円から八千万円もの木材を切つて財源にあてているから、村税負担は非常に軽く、道路も学校も福祉施設も立ちどころに出来るという体制である。

ありがたいのも公有林だが苦労の多いのも公有林で、施業計画の進め方が村当局の悩みの種であるらしい。

村立の産業高校は教委事務局と共に新しい建築である。広い礼法室のタタミの上で、公有林五十年の歩みをきいて考えさせられることが多かつた。

（つづく）

第1報を村長さんに

モシモシ村長さんですか、オラ青生野のOです。電話できてありがとゴゼエヤシた。

ハアよく聞こえやす。ハイありがと°おメエさまも丈夫でナイ、しつかりやつてくらつシヨ……

告知版

◎一月六日 消防出初式

昨年は消防団の検閲が棚倉町で郡内連合して行つたため、村内全団員の集まる機会がなかつたわけです。それで一月六日の出初式は鮫小校庭に全員集合して行ないます。当日午前七時に団員招集のサイレンが鳴りますが、火事とまちがわないようにお願いします。

◎一月十五日成人式

鮫川高校で行います。住民登録をしているかたには案内状をあげてありますが、該当者は昭和十七年一月十五日から十八年一月十四日までに、本村で生まれたかたです。住民登録をしていなくても参加されるよう望んでいます。

⊙惜しまれて去る 国井さん

国井一良前収入役さんは二期八年間を立派につとめ上げ十二月二十七日で満期となり円満退職されました。国井さんは書記として役場に就職されてから二十年九ケ月、収入役としては健全財政の確立に功績をあげられました。後任の収入役には住民係長前田季男さんが抜てきされました。

編集あとがき

○……新年おめでとうございます。心をあらたにし今年も皆さんの期待にそうよう懸命に努力します。

編集子 一同

○……編集日を昨年の十五日発行を一日発行にあらためました。